

主役は三玉っ子

山鹿市立三玉小学校
児童数:133人
文責:校長 吉田 公雄
令和8年5月15日(第4号)



学校教育目標:ふるさとを愛し人間性豊かでたくましい児童の育成
学校経営方針:一人ひとりが輝く 子どもが主役の学校

4月、5月は大切な命を守る取組が盛りだくさんでした。 ～安全教室、交通安全自転車教室、地震避難訓練、児童引き渡し訓練～



新年度の4月、5月は子どもたちの大切な命を守る取組が数多く実施されました。4月14日の「安全教室」では、毎日の登下校での安全の意識を高める取組をしました。雨が降り出す前に運動場に出て、登校班ごとに並ぶ順番の確認、一列歩行、安全な横断の仕方、挨拶やお礼、校門挨拶の練習などを行いました。新登校班長さんたちを中心に張り切って取り組む姿がありました。その後、地区児童会を各教室で行い、登校班の集合場所、集合時刻の確認などをしました。毎朝の子ども達の登校の様子をいろいろな地区に出向いて見ていると、どの地区



の登校班も一列歩行や安全な横断の仕方、挨拶、お礼を自分たちできちんとやっている姿があり、毎朝、感動しています。

4月21日の「交通安全自転車教室」では、山鹿警察署の守屋天雄様、警友会の立山尊規様や婦人会長の松尾和子様をはじめとする三玉地区婦人会の皆様と多くの方々にご来校いただき、子ども達の安全な歩行の仕方や自転車の乗り方を多くの目で見守り、指導していただきました。三玉地区の協力体制の素晴らしさにまた感動しました。おかげで、みんな自転車の乗り方に自信が付き、安全意識が高まったようです。

4月16日は「地震避難訓練」を行いました。熊本地震から10年の節目でした。子ども達は緊急地震速報を各教室で聞き、担任の先生の指示で揺れが収まるまで、机の下で安全を確保し、その後運動場に避難しました。みんな真剣に取り組んでいました。全校児童、職員で黙祷を捧げ、ご冥福を祈りました。

5月13日は「児童引き渡し訓練」を行いました。今年から「引き渡しカード」を作成し、保護者の皆様への確実な引き渡しを行いました。



運動場の「遊ぶエリア」を工夫して、みんなが安心して遊べる運動場へ



三玉小の子ども達は昼休みに元気いっぱいに運動場で遊んでいます。素晴らしいです。私も赴任してすぐに運動場でサッカーなどをして子ども達と遊びました。みんなにこにこ笑顔で、楽しい時間でした。ただその時に1つのことに気づきました。サッカーを大ゴールを使って運動場全体でやっていると、他の遊びをしている子ども達と交差して危ないこと、大ゴールの後ろのブランコなどの遊具までサッカーボールが飛んで行き、危ないことに気づきました。

そこで、体育主任の菅先生と相談してサッカーエリアを縦の1コートから横の2コートに変更しました。ゴールもカラーコーンと安全バーで4つ作り、高学年と低学年がサッカーをできるようにしました。家庭訪問やGWが終わり、子ども達が本格的に昼休みに運動場で遊び始めています。この日の昼休みに運動場に出ると、2つのコートで高と低に



別れてサッカーを楽しんでいる子ども達、大ゴールの裏のブランコや登り棒で安心して遊んでいる子ども達、サッカーコートの横のスペースにドッジボールコートを引きいて遊んでいる子ども達、高鉄棒から身体を揺らしてジャンプの距離を競い合っている子ども達、大きな楠の木の周りも安心して遊んでいました。本当に多くの学年の男女がみんな楽しそうに遊んでいる姿があり、心からうれしくなりました。そんな中に、何人もの先生方の姿もあり、子ども同様、笑顔がいっぱいでした。ありがとう、先生方。そして準備をしてくれている体育委員会のみなさん、ありがとう。

